

様式第十八の四（第11条の3第3項関係）

認定事業適応計画の概要の公表

1. 認定の日付

2022年3月25日

2. 認定事業適応事業者の名称

アサヒプリテック株式会社

3. 認定事業適応計画の内容

(1) 事業適応に係る事業の目標

アサヒプリテックグループにおけるエネルギー起源のCO₂排出要因は、国内では主に工場での電力・燃料消費、営業車両等の燃料消費、オフィスでの電力消費、海外では工場およびオフィスの電力・燃料消費で、非エネルギー起源のCO₂排出は産業廃棄物の焼却によるもの。

アサヒプリテック社では特にエネルギー起源のCO₂排出に着目し、既存施設においては空調・照明や車両の省エネ化、電力会社の見直し、新規施設においては機器の高効率化・廃熱回収発電など、構造的な省エネ・創エネを追求しCO₂排出削減に貢献する。

(2) その事業の生産性を相当程度向上させること又はその生産し、若しくは販売する商品若しくは提供する役務に係る新たな需要を相当程度開拓することを示す目標

2022年4月より事業適応を開始し、2023年3月末までに炭素生産性を118%向上することを目標とする。

(3) 財務内容の健全性の向上を示す目標

2022年度（計画終了年度）に経常利益を計上することを目標とする。

(4) 事業適応の類型

エネルギー利用環境負荷低減事業適応

(5) 計画の対象となる事業（日本標準産業分類における中分類名称及びその分類コード）

非鉄金属製造業（23）

（選定の理由）

計画の対象となる事業は、貴金属含有スクラップの回収・リサイクルを行う事業であるため。

(6) 事業適応の具体的内容

下記を実施することにより、エネルギー起源二酸化炭素排出量の大幅な削減が見込まれる。こ

れにより、炭素生産性を 118%向上させることを目標とします。

- ・購入している電力の一部を再生可能エネルギー由来の電力に切り替え
- ・2022年4月に操業予定の坂東工場に NOX スクラバーなど省エネ設備を導入。
- ・2022年5月に開設予定の札幌営業所に高効率変圧器など省エネ設備を導入。

(7) 事業適応の開始時期及び終了時期

開始時期：令和4年4月

終了時期：令和5年3月